

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしそとばあく

特集

多様なマッチングが、 NPO活動を豊かにする

NPO×企業

NPO×行政

NPO×NPO

こおりやま広域圏の市民活動団体の皆さんに、活動の発展に欠かせない協働の取り組みについてお話を聞きました♪

写真提供：NPO法人子育てサロン日向ぼっこ



NPO 法人子育てサロン日向ぼっこ（猪苗代町）

第 74 号

2023年3月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(郡山市)
CAP こおりやま

写真提供：CAP こおりやま

NPO×企業



(二本松市)
特定非営利活動法人
子育て支援グループこころ

写真提供：特定非営利活動法人子育て支援グループこころ



(郡山市)
特定非営利活動法人
郡山市聴力障害者協会

写真提供：特定非営利活動法人郡山市聴力障害者協会

特

集

多様なマッチングがNPO活動を豊かにする

任意団体

CAPこおりやま

NPO×企業

郡山市

代表 松本 美津子さん



写真提供：CAPこおりやま



公式 Facebook



写真提供：CAPこおりやま

NPO 法人

特定非営利活動法人 子育て支援グループこころ

NPO×行政

中野さん 私は、2003年に二本松市の運営する子育て支援センターの職員として採用され働き始めました。当時、活発に活動していた育児サークルの活動を広げるお手伝いなど様々な子育てに関わる仕事に携わってきました。一歩ずつ成果が見え始め、育児サークルのリーダーさん達とのつながりが出来ました。

そうしたつながりから、ファミリーサポートセンター事業を自分たちで立ち上げようと考え、2007年7月にNPO法人を設立し、翌年の春よりファミリーサポートセンターを開設しました。また、行政と協働の取り組みとして、多くの家族に利用いただける運営とすることが出来るようになりました。



理事長 中野 真理子さん



写真提供：特定非営利活動法人子育て支援グループこころ

公式Web



子育ての困りごとについての相談を積極的に受け付け、病児保育室の開設やホームスタート（家庭訪問型子育て支援事業）などにも取り組んできました。また、地域に必要とされた障がい児支援分野へ活動の幅を広げて参りました。行政との協働に必要なことは？職員としての勤務経験から、国や県などの取り組みに関する知識を積み重ね、地域や子どもに関する各種委員会の委員も経験しながら、必要に応じて、行政へ協力する形で丁寧に関係づくりをしてきました。

協働を進める上で大切なことは、行政の仕組みや事情を理解した上で、お互いに同じ目標の実現に向いながら進めていくことが必要だと感じます。

現在、正会員が90名です。今後も子育てしやすい地域の実現を目指し活動して参ります。

二本松市

松本さん

CAPとは、「子どもへの暴力防止プログラム」です。あらゆる暴力から子どもたちを守るために、1978年にアメリカで開発されたプログラムです。

1999年9月に福島県でCAPスペシャリストの養成講座が開かれたことをきっかけに、その受講生により県内4つのグループが立ち上がり活動が始まりました。

東日本大震災発生後には、被災・避難地域の子どもたちのために、公益財団法人日本ユニセフ協会様の支援を頂き、多い年で年間68回のワークショップを実施しました。2019年には、郡山市で初となる児童虐待防止の啓発イベント「ふくしまオレンジリボンたすきり in こおりやま」を実施しました。

活動の輪を地域に広げる協働の取り組みとして、今年の1月21日に、福島日産自動車株式会社主催「フクニチヤージ祭」に参加することになりました。

参加のきっかけは、イベント企画の企業の方がテーマである「児童相談189」に関連した団体を探した際に、フェイスブックで私達の活動記事をご覧になりお声がけいただいたことです。

私達のブースには子どもから大人まで、570名が立ち寄って下さい、胸にオレンジリボンをつけた方々で会場中が溢れました。

企業との協働により、たくさんの方々にCAPこおりやまを知つていただきました貴重な機会となりました。



小林さん 私達は、聴覚障がい者に対する社会課題の解決を目指し1968年に任意団体として設立し、様々な取り組みを進め、2010年にNPO法人を設立しました。

2017年には、東北で初となる手話を言語として認める「郡山市手話言語条例」が施行され、手話と聴覚障がい者への理解を広める大きな節目となりました。私達にとって手話は、思考や概念、感情などを自由に表現できる大切な言語です。

現在は、多数の団体・企業などの皆さんに手話に触れていただける機会の創出に取り組んでいるところです。

協働の取り組みを教えてください

山中さん 活動当初は、他分野の団体の皆さんとの連携はありませんでした。その変化のきっかけは東日本大震災の発生により、様々な場面で連携の機会が増えたことです。

NPO法人あいえるの会さんは、インクルーシブ教育の出前授業を行っており、地域の小学校へ多分野の障がいを持つ当事者団体が訪問しています。その活動に、私達も協働して参加しています。

SDGsが社会に浸透してきたことで、地域の様々な皆様との連携を更に広げていきます。



NPO法人紹介コーナー

NPO法人子育てサロン日向ぼっこ

子育てサロンは、未就園のお子さんとその家族が気軽に立ち寄り、自由に遊び、親子同士が交流・情報交換などをしたり、子育ての相談をしたりしてゆっくり過ごせる場所です。子育ての不安を解決するためにホームスター（家庭訪問型子育て支援事業）プログラムや地域のコミニティ施設への出張型子育てサロンを実施しています。事業を始めてから早いもので11年が過ぎました。

鈴木さん 私は、保育園に長年勤めていた際に子育てに関する相談を受ける機会が多くあり、育児の相談が気軽にできる場所の必要性を感じていました。東日本大震災の発生後すぐに、NPO法人を設立し、2011年から猪苗代町の事業委託を受け、子に育てサロンと児童館の運営を行っています。

今後は、次の世代へ運営をつなぎ、「この活動で積み重ねた信頼と知識を継承していくけれどもチャレンジして参ります。



公式Web



NPO法人を設立しませんか！

設立相談について、随時 受付中！

◆ NPO法人は、営利企業とは違い、NPO会計基準に即して会計処理を行います。

◆ でも、ご心配なく、NPO会計基準に即した会計ソフトの操作をサポートいたします。

こんなお手伝いをしています。

- ① 会計ソフトの使い方を案内しています。
- ② 決算書類の作成まで伴走いたします。
- ③ NPO法人会計基準の解説資料をご用意しています。

注意

- ① 入力の代行や納税申告の手続きは行えません。
- ② 薄記の講習は行いません。

相談無料／予約制

専門相談会

- 多文化共生社会の実現
- SDGs の推進
- クラウドファンディング活用



相談テーマ：多文化共生社会の実現

専門相談員

三田眞理子 | 3/28 国



① 13:30-14:15 ② 14:30-15:15 ③ 15:30-16:15



相談テーマ：SDGs の推進

専門相談員

鷲谷 恭子 | 3/29 水



① 13:30-14:15 ② 14:30-15:15 ③ 15:30-16:15



相談テーマ：クラウドファンディングの活用

専門相談員

中瀬 亮兵 | 3/30 木



① 13:30-14:15 ② 14:30-15:15 ③ 15:30-16:15

町内会への出前講座

こんな出前講座が出来ます！

① 皆さんのご希望を伺って

② ピッタリの出前講座を作ります！

問 郡山市市民活動サポートセンターへお問合せください♪



町内会の皆さんの活動を応援するために「出前講座」をいたします！
LINE 講座も！お任せください！
※講座内容により、料金がかかるケースがございます

サポートセンター相談コーナー

ズバッと解決！



相談事例

役員が退任されることになり、定員割れするので、補充しなければならないがどうしたら良いか。

定款を確認したところ、後任者の補充が必要なため、臨時総会の開催方法を案内し、その後の所轄庁への提出書類を案内しました。

その結果、理事会（役員会）で話し合い、臨時総会を開催して、新しい役員を選任しました。

また、次回の総会時には、定款の変更を行うことも確認しました。

相談は、無料です♪サポートセンターへご連絡ください♪

発 行 郡山市市民活動サポートセンター (愛称：アシストパーク郡山)

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話 /FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

ウェブサイト <https://assistparkkoriyama.net/>

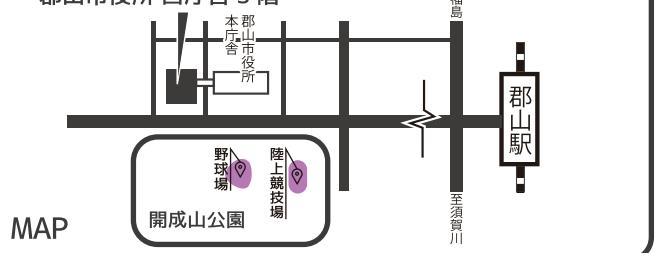
住 所 〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託 NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク

郡山市役所 西庁舎 3 階



MAP

Web

Twitter

Facebook

